

2022 年度 社会福祉学科

小 論 文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

以下の文章を読んで、問に答えなさい。

食糧事情と社会階層

文化人類学者のペーター・ブラウンとメルヴィン・コナーは社会構造と食料事情の観点から社会に共有される理想体型の変遷を調査し、美しさの指標がぼつちりからやせに移行する条件として、その社会が食料不足の危機を脱しているか否かがあると述べる。

人間の社会が、狩猟採集から農業や牧畜を中心とした食料を作り出す社会に移行し始めたのは約一万二千年前と言われている。新石器革命と呼ばれる狩猟採集から農業への移行は、それまでの社会とは決定的に異なる社会構造の醸成を可能にした。農業により生活を営むということは、獲物を求めて集落を頻繁^{ひんぱん}に移動する必要がないということ、つまり食料の備蓄が可能になったということである。その結果一つのコミュニティは、より多くの人口を保持できるようになり、さらにそのコミュニティを保持するための政治制度や経済制度が、狩猟採集時代のそれらよりも複雑な形で成立した。

その中で必然的に生じたのが社会の階層化である。階層化によって利潤を得たのは言うまでもなく支配階級であり、それは食料不足の際に露^{あら}わになった。比較的に平等に食料が分配される狩猟採集社会と異なり、農業による定住生活を行う社会において、そのような分配は起こらない。支配階級の者たちは、下位の者に食料を納めさせるため、下位の者よりも常に多く食料を備蓄することができ、飢饉^{ききん}の際にも餓えずにすることができる。つまり、飢饉にさらされるコミュニティにおいて太った身体は十分な食料にアクセスできることの象徴、つまり上流階級の証としてはたらいだ。

ところが、社会の工業化が進むにつれ、状況は一変した。食料確保と備蓄の技術が進み、貧しい者でも簡単に太ることのできる社会が到来したのである。もはや十分な食料を備蓄できること、餓えずにいられることは富の証ではなくなった。むしろ大量の食べ物に囲まれた中でも、その誘惑に屈することなく、自らの選択において自分の身体をコントロールできることが重要になり、太っていることはむしろ病気の兆候とみなされる社会が訪れたのである。

しかし自らの身体を自分自身で管理すべきという考え、太っていると病気になりやすいといった考えはいったいどのように生まれたのだろうか。

自己管理により達成される健康と自己責任としての病気

二〇世紀後半に訪れた新しい医学のあり方を医師の美馬達哉は「リスクの医学」と名付ける。これは既にある病気を治すのではなく、身体測定の結果や心理傾向、ライフスタイルといった多様なデータを統合し、病気のリスクを疫学的な観点から算出した上で、予防のための介入を行う医学のあり方のことを指す。

ここで美馬が批判的に指摘しているのは、病気にならないための食事や運動指導、あるいは定期検診の推奨といった形でリスクの医学が健康な人々のライフスタイルにまで介入しはじめたことである。つまり医学は病気の人の身体だけでなく、健康な人の身体までもその射程にいれることになったのだ。

そしてここから必然的に生まれるのが、健康は個人の責任において維持されるべきという考え方である。現在のライフスタイルが未来の病気の有無に影響するとすれば、人は病気にならないライフスタイルを選択することで、病気になるリスクを自主的に低下させねばならなくなるし、医学的に好ましくないライフスタイルを選択する人は、未来の自分に責任を負っていないということになるだろう。

健康な人々の身体に介入するリスクの医学において、可視的にとらえられる身体のサイズは健康状態を判断するためのわかりやすい尺度となった。メタボリックシンドロームにおいて腹囲がその基準にされたり、BMIによって肥満度が判定されたりするように、太った身体はより大きなリスクを抱えた身体としてみなされやすく、それは必然的に自己管理が足りないことの証とみなされやすい。

現代社会において、やせて引き締まった身体が賞賛されるのは、健康は日々のたゆまぬ努力によって達成されるべきであるとする価値観を、やせた身体が体現するからと言える。やせた身体は二〇世紀後半になって現れたリスクの医学とも分かち難く結びついているのである。

一方、自己管理による健康維持という概念をうまくビジネスにとり入れ、それを現代社会のキーワードである「自分らしさ」や「個性」と巧みに結びつけたのが健康・美容産業である。

出典：磯野真穂著『なぜふつうに食べられないのか ―拒食と過食の文化人類学』春秋社、2015年、82頁～85頁

問1.「太っていることは不健康」という考え方（社会規範）はどのような経緯で成り立ってきたのか，200字以内で説明しなさい。

問2.「リスクの医学」と「やせた身体」はなぜ結びつくのか，200字以内で説明しなさい。

問3.「健康は個人の責任において維持されるべき」という考え方（社会規範）について，その是非を説明した上で，あなたの考えを述べなさい（字数は問いません）。